



やず町 議会だより

第64号

(令和3年2月)



よい年になりますように (茂田公民館)

もくじ

■12月定例会……………	2	■議会改革推進調査特別委員会……………	20
■議案等議決結果……………	8	■令和2年 本会議、委員会出欠表 ……	21
■一般質問 (10人が質問) ……	9	■やず・ドリームトーク……………	22

7施設の管理者を指名

12月定例会を10日から22日までの13日間で開催した。

条例の制定1件、一部改正6件、廃止2件、補正予算8件、議員提出議案1件を含む28議案を審議し、全議案を原案どおり可決した。

陳情は3件を審議し、いずれも不採択とした。

一般質問は10人の議員が町政全般についてたじた。

町道関係

◇議案第150号
町道の路線認定

一般県道河原郡家線の一部を町道に移管する。

◇議案第151号
町道の路線変更

宮谷下門尾線の一部を県道に移管し、終点を変更する。

財産の貸付

◇議案第152号
財産の貸付（米粉製粉機ほか）

有限会社こおげ農業開発センター代表取締役 滝田常生氏に貸付するもの。
貸付期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

規約変更

◇議案第153号
鳥取県町村総合事務組合規約の変更

非常勤消防団員に対する退職報奨金・消防団員に対する賞しゅつ金の支給事業を共同処理事務に加える。

条例の廃止

◇議案第154号

八頭町消防賞しゅつ金及び殉職者特別賞しゅつ金条例廃止

◇議案第155号

八頭町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の廃止

条例の制定

◇議案第156号

八頭町議会議員及び長の選挙における選挙運動の町費負担に関する条例の制定
公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴うもの。

質疑

条例の周知徹底が急がれるが、どう周知されるのか。

◇答弁 吉田町長

12月定例会が終わり次第、広報等で住民の皆さんに周知する。

条例改正

◇議案第157号
八頭町印鑑条例の一部改正

コンビニ交付システム導入に伴い、マイナンバーカードを用いて印鑑登録証明書を多機能端末機により申請、交付できる方法を追加するもの。

◇議案第158号

八頭町手数料徴収条例の一部改正

コンビニ交付システムの導入に伴い、多機能端末機により交付する住民票の写し、印鑑登録証明書、所得・課税等に関する証明書の手数料を定める。

質疑

①コンビニ証明書交付は、いつから実施か。
②町内どこのコンビニで交付を受けられるのか。
③証明書の種類は3種類と聞いているが。

◇答弁 吉田町長

①2月中旬で準備を進めている。

②マルチコピー端末が設け
てあるコンビニでは可能。
③住民票の写し、印鑑登録
証明書、さらには所得課税
証明書の3点。

◇議案第159号
やずミニSL博物館条例の
一部改正

民間活力によるサービス
向上や管理運営の効率化を
目的に、指定管理者制度に
移行するもの。

質疑
やずミニSL博物館の位
置を変更とあるが、間違っ
ていたのか。

答弁 吉田町長
正しくは今回提案してい
る560番地だ。

◇議案第160号
八頭町介護保険条例の一部
改正

地方税法の改正に伴い、
延滞金計算の特例規定を改
正するもの。

◇議案第161号
八頭町後期高齢者医療に関
する条例の一部改正

地方税法の改正に伴う延
滞金規定の改正のほか、還
付加算金規定について改正
を行うもの。

指定管理者の指定

◇議案第162号〜168
号

指定期間はいずれも令和
3年4月1日から令和6年
3月31日までの3年間。

◇船岡竹林公園
【管理者】

株式会社遠藤農園
代表取締役 小山由香

◇やずミニSL博物館
【管理者】

若桜線SL遺産保存会
会長 山根 徹

反対討論 森 亜紀子

船岡竹林公園との連携が
必要。同じ敷地内で別々の
指定管理に違和感がある。
将来は若桜鉄道沿線の空
き施設に移転も視野に入れ

ては。行政は直接経営や運
営を支援し、協力する責任
がある。

賛成討論 岡嶋 正広

指定管理者を指定する
という新たな試みの中、施設
の移行という提案等、施設
のあり方については今後の
課題として結論を出すべき
であり、今回の議案とは別
問題である。本案に賛成す
る。

◇八東フルーツ総合セン
ター
【管理者】

八東地域振興株式会社
代表取締役 寺坂健治

質疑
今回300万円の指定管
理料についての内容は。

答弁 吉田町長
現在、地域おこし協力隊
の方に駅長の代理もお願い
している。運営上、人の補

填が必要で計上した。

反対討論 森 亜紀子

フルーツ総合センターは
施設の維持管理及び営利が
主たる目的。コロナ禍で民
間は厳しい。地域振興(株)
の役員は、ここ数年の決算書
の監査指摘を真摯に受け止
め経営改善することが先決
で、経営のサポートをする
べき。

賛成討論 岡嶋 正広

経営方針及び人員配置、
人員不足等の問題はこの企
業に任せるべきであり、こ
の議案に反対する理由には
ならない。
より一層の役員・職員の
経営努力を望むものであ
る。本案に賛成する。

◇やまめ供給施設
【管理者】

私都養殖漁業生産組合
組合長 岡垣健児

◇大門体験農園
【管理者】

物産館みかど
会長 棟尾純一



▲ 新たに指定管理されるミニSL博物館

◇下私都農産物加工施設
【管理者】

有限会社こおげ農業開発
センター

代表取締役 滝田常生

◇ぷらつとぴあ・やず

【管理者】

八頭町観光協会

会長 本田陽二

補正予算

◇議案第169号

令和2年度一般会計補正予算(第10号)

歳入・歳出予算にそれぞれ2906万円を追加し、総額134億2091万円とした。

【主な歳出】

○集落公民館等修繕補助金 289万円

○自立支援事業扶助費 2500万円

○小規模橋梁改良事業費 3300万円

○障がい児通所給付費等事業 2000万円

○新型コロナウイルス感染症対策事業 3000万円

○埋蔵文化財調査事業 198万円

◇議案第176号

令和2年度一般会計補正予算(第11号)

歳入・歳出予算にそれぞれ926万円を追加し、総額134億3017万円とした。

【歳出】

○ひとり親世帯臨時特別給付金事業 926万円

議員発議

◇発議第7号

八頭町議会基本条例の一部改正

議会は、災害又は重大な健康被害等の危機が発生した場合に、議会が機能不全に陥らないため災害対応条項を追加したものを。

【反対討論】

森 亜紀子

今の議会議員の状況は、基本条例改正以前の問題。文言の見直しより、行動を見直すことが大切。開かれた議会か、信頼される議会

か自己分析をして住民から信頼される行動をすること。その上で改正することが望ましい。

【賛成討論】 川西 聡

国も町も基本的な方針に沿って努力している。個々の議員の良識に任せるだけでは秩序が保てない。

当たり前の事を指針として持つのは大事なことで特別委員会が議論をして到達した意義は認めるべきでは。

令和2年 第9回臨時会

11月12日

専決処分の承認

◇議案第140号

専決処分の承認を求めること

(地域経済牽引事業促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正)

契約

◇議案第141号

備品購入契約の締結(小学校タブレットパソコン)

○契約金額 31,498,467円

○契約の相手

株式会社ケーオウエイ 鳥取事業所長 福谷弘道
GIGAスクール構想による児童一人一人にタブレットパソコンを配備するもの。児童用671台、教師用52台、合計723台。

【質疑】

契約の方法が指名競争入札だが、3社のうち2社が辞退とある。これが指名競争入札として適切なのか

【答弁】 吉田町長

今回の入札は予定価格を

オープンにしていなくて、十分競争に当たると考えている。

【賛成討論】 岡嶋 正広

契約の方法とか町長との見解の違いはあるが、議案の内容は早く進めるべきだ。

【反対討論】

坂根 實豊

入札の形態が不自然。という意味合いで反対する。

【反対討論】

小原 徹也

これは競争原理と町民の税金を使う行政の入札だが、やり方がいかかと思いが反対する。

◇議案第142号

備品購入契約の締結(中学校タブレットパソコン)

○契約金額 18,688,670円

○契約の相手

株式会社ケーオウエイ 鳥取事業所長 福谷弘道
議案第141号と同様に生徒用400台、教師用に30台。合計430台を配備するもの。

財源は小学校と同様、公立学校情報機器整備費国庫補助金で、事業費は昨年度からの繰越予算。

協定

◇議案第143号

八頭町公共下水道竹ノ下排水区雨水幹線の建設工事委託に関する協定の締結

本協定は八頭町公共下水道計画に基づく、竹ノ下排水区の雨水バイパス管路整備工事を日本下水道事業団に委託しようとするもの。工期は令和4年3月31日の完了を予定。

質疑

この事業の協定金額の記載・説明がないが日本下水道事業団との協定をした経緯について説明を求めます。

答弁

吉田町長 金額は6億300万円。日本下水道事業団は法に基づいて設立された下水道専門の地方共同法人だ。町には専門的技術職員がいない。また基本設計もお世話

になっっている関係で協定をしたい。

質疑

民間にもノウハウを持った業者があると思うが。

答弁

吉田町長

日本下水道事業団は地方公共団体を支援、代行する機関として下水道事業を行うことができるのが法で規定されている唯一の法人だ。その豊富な実績、経験を有している事業団に設計管理を委託し、工事発注をしてもらう協定だ。

反対討論

小原 徹也

田畑への影響について納得できる説明がない。このまま事業が進めば、問題が発生すると心配する。専門家に聞き納得できるまで賛成できない。

賛成討論

岡嶋 正広

この事業、行政が重い腰を上げ何とか排水対策しようというところで、良いことだと思ふ。不安要素もあるが、不都合があれば設計変

更するなり早くこの事業を終わらせてほしい。

賛成討論

森 亜紀子

住んでいる住民にとっては喫緊の課題だ。速やかに工事を行い、災害時には大きな排水対策として活用されることを期待し賛成とする。

財産の貸付

◇議案第144号

財産の貸付（コンテナオフィス）

隼Lab.に現在16社の企業が入居・満室となり、新たに新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、隼Lab.の校庭に3企業が入居可能なコンテナオフィスを設置する。

この施設（91.01㎡）を、株式会社シーセブンハヤブサとの土地・建物使用貸借契約第2条中の貸付物件に追加し、財産の貸付契約を締結しようとするもの。

貸付期間は令和3年3月

1日から令和4年3月31日まで。

質疑

この契約は、期間は定められているが実態は定めもなく、無償で貸し続ける内容だ。

平成29年9月29日の契約では、5年間無償貸付けし、その後は有償貸付けの内容だが。

答弁

吉田町長

賃貸借料及び契約期間の在り方等は、契約期間終了6か月前から双方協議をするとしている。

反対討論

小原 徹也

貸付企業は民間で、町の外郭団体ではない。民間企業に対し3千万円もの資金を投じ無償で貸付けるのは、公平性の角度から疑問であり反対する。

賛成討論

岡嶋 正広

貸借契約無償だが、この契約を結んでいる限り反対はできない。入居する業者には経営の向上を求め、町

の活性化に努めてもらいたい。

補正予算

◇議案第145号

令和2年度一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出それぞれ103万9千円を追加するもの。歳入は松くい虫等防除事業費補助金103万9千円を追加。歳出は光ケーブル施設更新に係る無停電電源装置更新業務44万3千円、ナラ枯れ対策業務委託料138万6千円を計上し、予備費で調整するもの。

◇議案第146号

令和2年度簡易水道特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ740万円を追加するもの。歳入は簡易水道事業債740万円。歳出は、簡易水道施設の減圧弁更新に係る工事請負費740万円。

令和2年
第10回臨時会

11月30日

条例改正

◇議案第147号

八頭町職員の給与に関する
条例の一部改正

人事院の勧告に従い、11月27日に国会で一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律が成立したことを受け、条例を改正しようとするもの。

今後、期末手当の支給月数を2.55月とし、勤勉手当の支給月数1.9月を合わせ、ボーナスの支給月数は年間4.45月となる。

◇議案第148号

八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会の議員の期末手当の支給月数を0.05月引き下げ、年間3.35月としようとするもの。

◇議案第149号

八頭町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

特別職については議案第148号と同様の内容。



陳情の審査

件名	提出者	結果	理由
陳情13号 保健所の機能強化を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	不採択	
陳情14号 地方消費者行政の拡充を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	不採択	意図が分からない。
陳情15号 全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するととりの会 共同代表 石田正義 他2名	不採択	地方議会に馴染まない。

行政調査の報告

総務教育常任委員会

1. 行政調査日程
令和2年10月29日（木）
2. 視察場所
岡山県英田郡西粟倉村
○人口1444人
一般会計年間予算規模
約30億円（いずれも2020年）
○平成25年環境モデル都市、令和元年、SDGs未来都市及びSDGsモデル事業都市に認定される。
3. 視察の目的
先進的取り組み事例を調査、議会活動に反映する。
4. 調査報告
- ①平成20年より「100年の森林構想」に取り組む。
木を100年育て付加価値をつけて子孫に受け継ぐ。
- ②木質バイオマスボイラーの導入
村内温泉施設3か所の灯油ボイラーを薪ボイラーに変更、地元産木材を乾燥供給している。
バイオマスボイラー（木質チップ燃料）による熱源供給（暖房・給湯）している。村内でも薪ストーブを多く使用。
- ③小型水力発電事業
西粟倉発電所（最大出力290KW）中国電力に売電、西粟倉第2発電所を建設中（最大出力199KW）
小水力発電でEV車の充電場所



▲ 担当者から説明を受ける委員

- ④太陽光発電に取り組み。
建設中の新庁舎等（3か所）に太陽光発電装置を導入、中国電力に売電する。
5. 視察のまとめ
○スタートする森林環境税のもと森林経営は今後の本町にとっても大きな課題であり、地元産木材の有効利用に取り組む「森林100年構想」は一つの方向性として参考になった。
○山の管理、木の切りだしや商品化、バイオマスボイラーや水力発電、ソーラー発電など地域の資源を有効活用した自然と暮らしがつながり合う理想的な取り組みと感じた。

所管施設の現地視察報告

産業福祉常任委員会

1. 視察日程
令和2年11月20日（金）
2. 視察施設
○中私都地区福祉施設
（旧中私都保育所）
○旧船岡保育所
○八東地域福祉センター
3. 視察の目的
施設の工事の進捗状況の確認。
4. 視察のまとめ
旧施設の有効活用が進められていることを確認した。



▲ 中私都地区福祉施設



▲ 八東地域福祉センター



▲ 旧船岡保育所

議案等議決結果 (第9回、10回臨時会・第11回定例会)

○全会一致で可決・認定したもの

議案等 番号	件名	議案等 番号	件名
第9回臨時会			
140	専決処分の承認を求めること (地域経済牽引事業促進のための固定資産税 の課税免除に関する条例の一部改正)	146	令和2年度八頭町簡易水道特別会計補正予算 (第2号)
145	令和2年度八頭町一般会計補正予算(第9号)		
第10回臨時会			
147	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正	149	八頭町特別職の職員で常勤のもの の給与及び旅費に関する条例の一部改正
148	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等 に関する条例の一部改正		
第11回定例会			
150	町道の路線認定	165	やまめ供給施設の指定管理者の指定
151	町道の路線変更	166	大門体験農園の指定管理者の指定
152	財産の貸付(米粉製粉機ほか)	167	下私都農産物加工施設の指定管理者の指定
153	鳥取県町村総合事務組合規約の変更	168	ぶらっとびあ・やずの指定管理者の指定
154	八頭町消防賞しゅつ金及び殉職者特別賞しゅつ 金条例の廃止	169	令和2年度八頭町一般会計補正予算(第10号)
155	八頭町非常勤消防団員に係る退職報償金の支 給に関する条例の廃止	170	令和2年度八頭町国民健康保険特別会計補正 予算(第3号)
156	八頭町議会議員及び長の選挙における選挙運 動の町費負担に関する条例の制定	171	令和2年度八頭町簡易水道特別会計補正予算 (第3号)
157	八頭町印鑑条例の一部改正	172	令和2年度八頭町公共下水道特別会計補正予 算(第2号)
158	八頭町手数料徴収条例の一部改正	173	令和2年度八頭町農業集落排水特別会計補正 予算(第2号)
159	やずミニSL博物館条例の一部改正	174	令和2年度八頭町介護保険特別会計補正予算 (第2号)
160	八頭町介護保険条例の一部改正	175	令和2年度八頭町後期高齢者医療特別会計補 正予算(第1号)
161	八頭町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	176	令和2年度八頭町一般会計補正予算(第11号)
162	船岡竹林公園の指定管理者の指定		

○賛否の分かれたもの

議案等 番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
		奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	尾島 勲	高橋信一郎	下田 敏夫	栄田 秀之	
第9回臨時会															
141	備品購入契約の締結 (小学校タブレットパソコン)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
142	備品購入契約の締結 (中学校タブレットパソコン)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決

議案等 番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結果
		奥田のぶよ	川西聡	小倉一博	小林久幸	森亜紀子	中村美鈴	岡嶋正広	坂根實豊	小原徹也	尾島勲	高橋信一郎	下田敏夫	栄田秀之	
143	八頭町公共下水道竹ノ下排水区雨水幹線の建設工事委託に関する協定の締結	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
144	財産の貸付 (コンテナオフィス)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
第11回定例会															
163	やずミニSL博物館の指定管理者の指定	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
164	八東フルーツ総合センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情13	保健所の機能強化を求める意見書の提出(陳情)	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情14	地方消費者行政の拡充を求める意見書の提出(陳情)	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	不採択
陳情15	全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出の陳情	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	不採択
発議7	八頭町議会基本条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	可決

賛成「○」、反対「×」で記載。
議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。

10人が
一般質問
しました。

ここが聞きたい

一般質問

テーマ	質問事項	質問者	頁
産業	「八頭町森林・林業ビジョンについて」(これからの林業の有り様は)	小倉	15
	森林の活用	栄田	19
	観光資源	栄田	19
子育て	子育て支援	中村	17
防災・安全	救命救急体制	奥田	11
	防災訓練	森	18

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、本町が取り組む施策	尾島	10
	第2次八頭町総合計画後期基本計画	奥田	11
	行政運営全般	小原	12
	補助金の投資効果の検証	高橋	13
	ケーブルテレビ放送	岡嶋	14
	公共交通	岡嶋	14
	町の温暖化対策を問う	小倉	15
	県立八頭高等学校サッカーグラウンドから舞い上がる「砂埃」の地域住民の生活に与える悪影響を防止する対策を県に要請すること	川西	16
	新型コロナウイルス禍における諸対策	川西	16
	ケアラー	中村	17
	人権施策	森	18
	八頭町の監査制度	栄田	19



尾島 勲 議員

脱炭素社会

本町が取り組む施策は

町長/水力・バイオマスをしっかり活かしたい

質問

①再生可能エネルギーへのシフトは。
②ゼロエネルギー住宅の促進は。
③クリーンエネルギー自動車購入促進は。
④農林水産業における取り組みは。
⑤環境教育は。

答弁

吉田町長

①住宅用と公民館等の太陽光発電システム設置補助、薪ストーブ、蓄電池、電気自動車等の充電設備導入補助を設けている。

②温水プール等、公共施設でのバイオマスエネルギーの活用を検討している。

③とつとり健康省エネ住宅を推奨し、補助制度を設けている。

④電気自動車の貸し出し事業の調査研究を行う。

⑤環境にやさしい農業を推進するとともに、スマート農業による作業の効率化や適性施肥による温室効果ガスの削減を推進し、本町の脱炭素社会に向けて取り組む。

質問

平成19年以降約3千ヘクタールの間伐を実施し、温室効果ガス削減に貢献している。

答弁

藪田教育長

⑤社会科・理科・生活科を中心に、全教科・全領域で行っている。

質問

八頭町森林・林業ビジョンの具体的な実行プランは。

答弁

吉田町長

船岡庁舎・鍛冶屋温泉・温水プールの3施設を、チップ材で活用対応できないか現在調査研究中だ。

質問

木質バイオマス燃料や小水力発電による再生可能エネルギー地産地消のまち、地域内循環のまちを創ってどうか。

答弁

吉田町長

再生可能エネルギーにシフトしていく時代になったと認識している。

水力・バイオマスをしっかり活かしていきたい。

質問

自然栽培や減農薬・減肥栽培など、自然環境にやさしい農業の推進は。

答弁

吉田町長

本町で何が適正な作物栽培になるか検討したい。

質問

4団体が化学肥料・農薬を5割低減する取り組みを実施。9団体が有機農業に取り組んでいる。13団体合わせて約100ヘクタールだ。

答弁

吉田町長

JAとも話をし、支援を考えたい。

質問

ソーラーシェアリングを耕作放棄地の解消、6次産業化の推進として取り組んでは。

答弁

吉田町長

本町で何が適正な作物栽培になるか検討したい。

質問

ユネスコスクールに加盟し、環境教育に取り組む用意はあるか。

答弁

藪田教育長

国際理解の観点からやりたい項目の1つだ。文部科学省・ユネスコ国内委員会も推奨しており検討したい。



▲普及・拡大が望まれるEV充電スタンド(役場本庁舎)



奥田 のぶよ 議員

総合計画後期
基本計画

郡家駅の自由通路は

町長/投資と効果も含め検討する

質問

後期基本計画のハード事業の今後の取組は。
①健康づくり拠点整備は。
②雨天でも対応する子ども向け室内遊び場の整備は。
③郡家駅前のにぎわいの創出は。
④郡家西小、郡家東小の大規模改修は。

答弁

吉田町長

①既存の施設の活用も視野に入れ、施設の整備を旨指し検討を進める。
②空き施設の活用をベースとし、複合的な施設整備を行うなどの検討を進める。
③郡家駅周辺整備基本構想から10年が経過した。
未着手の事業の取り組みの見直し、改めてにぎわいの創出の方向性を探る時期に来ている。

答弁

藪田教育長

④木材を使用した快適な学習環境づくり、老朽化した給・排水管等の改修、エレベーターの設置、トイレの洋式化を含む改修、教職員の休憩場所などの改修だ。

質問

計画は2024年までだ。郡家駅の自由通路について町長の思いは。

答弁

吉田町長

跨線橋化は、B/C(費用利益比)など調査、検討が必要で投資と効果も含め検討する。



▲ 八頭町本庁舎設置のAED
(自動体外式除細動器)

質問

救命救急体制

AEDは観光施設にも設置が必要では
町長/指定管理に出している
公園等には設置する

質問

救命救急体制は。

- ①防災ヘリ等の離着場の整備は。
- ②AEDの設置状況は。
- ③救命救急講習会の実施は。

答弁

吉田町長

- ①臨時発着場は現在町内に17か所指定され、おおむね充実している。
- ②町内54か所に60台設置している。
- ③東部消防局が年6回開催されている。団体受講を希望の場合は八頭消防署に相談すると職員を派遣してもらえる。

質問

AEDは観光施設にも設置が必要と思う。指定管理を受けているところは町が

責任を持って設置するべきでは。

答弁

吉田町長

指定管理に出している公園等については必要な施設なので設置する。

質問

AEDマップの情報提供が必要では。

答弁

吉田町長

ホームページにアップするよう対応したい。防災マップを改定の際は検討する。

質問

講習会の職員の受講は。

答弁

吉田町長

定期的に取り組みたい。



小原 徹也 議員

行政運営

地方自治法に従い運営されているか

町長/行政運営の基本目的だ

質問

①行政運営は、法令に従われている。町長は地方自治法の法令解釈をどう理解し執行されているのか。
 ②本町では、監査委員は2名。住民代表監査委員1名と議会代表監査委員1名を町長が選任、任命されている。監査の目的と役割を具体的に答弁を。
 ③監査で、住民の権利である住民監査請求制度がある。法的にどの位置づけにあるのか。また、監査委員の監査必携にあるとおり、決められた手続きが明確に示されているが。

答弁

吉田町長

①民主的にして能率的な行政の確保を図ることと、地方公共団体の健全な発達を保障することを目的とするものである。
 ②公正で合理的かつ効率的な行政を確保する。
 目的は、地方行政の公正の確保を目的として設置、不正又は非違の摘発が趣旨ではなく、監査を通して適法性、妥当性を確保、保証

することにある。

監査は誤審と不正の発見防止の役割に加え、さらには結果の公表により、住民の地方行政への知識と信頼を深める。

③法的位置づけは、地方自治法第242条に基づくものである。請求があったときは、監査委員は、「直ちに当該請求の要旨を当該普通公共団体の議会及び、長に通知しなければならない」と同条第3項に定めている。

質問

①監査委員は監査業務としてどのような監査を行っているのか。

②住民監査請求とは、請求人より請求趣旨、事実証明が提出される。では、形式審査とは何か。受理後の審査は、請求趣旨の内容審査だが、認識は。

答弁

丸山代表監査委員

①財務監査、行政監査、財務援助団体等監査、決算審査、例月出納検査だ。
 ②監査必携の実施手続きに沿って処理している。形式

審査とは、定められた様式・住所・自署・押印・事実証明書を確認することだ。
 実質審査とは
 ○住民・行為能力があるか。
 ○監査請求対象行為が、違法もしくは不当か。
 ○事実行為の結果、当該地方公共団体に損害が発生するか。

○必要な求める処置が明記されているか。
 ○請求期間は行為後1年以内か。
 この要件審査をクリアするかどうかで請求を正式に受理するか却下するかを決定するものであると認識している。



▲ 本庁舎の公示掲示板



高橋信一郎 議員

補助金

投資効果の検証は

町長/ 適正に運用されるよう
指導している

質問

本町の抱える一番の課題は人口対策。そして産業の振興対策だ。これらに係る投資費用は、福祉全体の向上と地域の活性化を醸成することを目的としている。よって、事業の進展や見直しに繋がる予算の投入にあたっては、その効果が検証されてしかるべきだ。町としてはどのように実践しているか。

答弁

吉田町長

補助金等を交付する場合は要綱を作成し、必要性・公平性・効果性・適正性を検証し、今後の方向性も併せて検証している。また、評価表では活動指標・コスト・活動内容の状況を明らかにし、事業に対する評価も実施している。

質問

実際は補助事業の以後の検証が真剣に行われていないのではないか。年間予算も結果としてばらまき状態での消化に終わっていると感じるがどうか。

答弁

吉田町長

事業が終わったら実績報告というものを申請者から頂いている。また、補助金シートを用いて今後の方向性を検討している。

質問

人口を減らさない対策として、農工商・サービス業の振興は欠かせない。教育・福祉においても充実させることは使命だ。例えば農業。毎年多くの税金を投入しても、結局は単年度の生産費の保障で終わっている。永続的な将来の経営に繋がっているとは言えない。これはなぜか。

答弁

吉田町長

農業については、いろいろな制度が国から出され、地方の自治体はその制度を基に取り組みを進めている。果樹等については儲かるという話もあり、良いところは伸ばし、悪いところは補填して行く形で対応したいと考えている。

質問

商工会の会員数はかなり減って来ている現状がある。これは社会の構造が急速に変わり、需要と供給のバランスが崩れてしまった結果と考える。そこで、これまで施策の検証とか、何か対策を打つ動きをして来たか。

答弁

吉田町長

毎年商工会とは話し合いをしており、農商工連携の話も模索している。会員数については現状維持だと伺っている。

質問

本町には目立った観光資源はないが、やり方によっては十分外貨が稼げると思っている。若桜線には観光と公共交通の二足の草鞋を履かせている。財政的にはそんな状況じゃないと思うがどうか。

答弁

吉田町長

総合戦略の中で観光列車化を進めた。今年はコロナ禍で数字が上がっていない。



▲ ここで全てが決まる本会議場

い。町としては第三セクターとして30年以上守っており、地域の皆さんと一緒に今後も盛り上げて行きたい。



岡嶋 正広 議員

ケーブルテレビ

県内配信業者との契約は

町長/慎重に検討する

質問 ケーブルテレビ加入率は今年9月末現在37.8%。加入率についての見解は。

答弁 吉田町長 意向調査での結果に基づき積算した加入率は37%。おおむね計画どおりである。

質問 令和4年の契約更新に当たり、業者選定、契約の際の基本的な考えは。

答弁 吉田町長 事業者が長期安定的に設備を使用できるIRU契約を締結している。契約期間以降の扱いは八頭町と配信業者双方で協議することになっている。

質問 県内、特に県東部地区の配信業者との契約についての考えは。

答弁 吉田町長 県内業者への移行への事業費、利用者負担の変更

等、慎重に検討する必要がある。

質問 町独自でスタジオを有し、番組の制作は考えられないか。出来事、話題等タイムリーに放送することを考えてみては。

答弁 吉田町長 機材、人材の面からハードルが高い。現状で情報発信の独自性は確保されている。



▲ 議会生中継配信設備 (船岡庁舎3階)

若桜鉄道八東駅ホーム待合所の設置は

町長/可能ならば対応する

質問 若桜鉄道に関して

①行き違い施設が完成し便数が増え、利便性は向上したと思うが利用者の増加につながっているのかどうか。
②行き違いの為のホームに雨風しのげる建物の設置を考えるべきでは。

答弁 吉田町長 ①新型コロナウイルスに見舞われ利用者が減少している。通学定期利用者は増便により増加している。
②国や地域の皆様との協議経過、設置スペース等もあり、現在の形になった。運輸局との協議の上、可能ならば対応させていただきたい。

質問 町営バスに関して

①大江線に小型バスを追加し、トスク船岡店、まちづくり委員会等設置予定の旧船岡保育所経由のルートは考えられないか。
②JR河原駅前を発着とし破岩、新庄、丸山、下町を経由しJR郡家駅までのルートは考えられないか。
③見槻線をJR郡家駅まで延長できないか。

答弁 吉田町長 ①大江線は一日11往復。福祉施設へは乗り合わせや公用車の送迎を考えている。
②維持管理経費、運転手の確保等困難かと考える。タクシー利用をお願いしたい。
③難しいと考えるがダイヤ改正の中で検討する。



小倉 一博 議員

林業振興

林業ビジョンの目的は

町長／全ての人工林を管理

質問

昨年より森林環境譲与税の交付が始まり、令和6年から森林環境税が千円住民税に上乗せ課税される。今回策定された「森林・林業ビジョン」について問う。

①ビジョンは10年の計画であるが、計画期間に何を実現するつもりか。

②山の有益性が認識される状況に至っていない。山林所有者にどう働きかけていくのか。

③森林組合の支援、共同経営体の結成や育成、山に関心を持つ世代の育成が喫緊の課題だが計画はあるか。

④地籍調査の前倒しが必要と思うか。

⑤子どもたちが自然に親しむ学習が組まれてきた。変化する森林行政をどう反映するのか。

答弁

吉田町長

①町内全ての人工林が管理されている状態になるのが目標だ。

②公共施設の木質化などによる地域材の利用増加、木材への注目度の向上、林産



▲ 山に親しむ子どもたち

物の生産量の拡大を図る。

意向調査の説明会や広報等で森林整備の必要性や、森林の多面的機能について説明する。

③林業就業者への支援の充実、小中学校での森林環境教育の充実等、山林への関心向上に取り組み。次世代育成には長期の取り組みが必要だ。

④従来令和22年完了としていた地籍調査を、本年度から5班体制に拡充。リモートセンシング方式の導入やレーザー航測データにより、現地立会やくい打ちが大幅に省力化できる。令和11年度には完了するように

取り組んでいる。

答弁

藪田教育長

⑤自然に親しむ学習を進めていく。

温暖化対策

脱炭素社会の方策は

町長／国の動きを注視する

質問

政府は温暖化対策として低炭素社会の実現を打ち出し、2050年までに温室効果ガス排出量ゼロを宣言した。企業活動はもちろん生活全般に関わってくる課題である。町の温暖化対策の現状と方向性を問う。

温暖化対策への取り組み

については国から具体的な計画が出てくると思うので動きを注視しながら、脱炭素社会の実現による持続可能なまちづくりを進める。

答弁

吉田町長

太陽光発電、木質バイオマス熱利用機器（薪ストーブ）、蓄電池や電気自動車の充電設備設置等に助成しているが、利用は年に数件だ。



川西 聡 議員

農林業者への
持続化交付金

制度の周知徹底を

町長/事業継続の下支えを支援する

質問

コロナ危機から営農と地域経済を守るための施策が持続化交付金制度である。売上が前年度同月比50%以上減少している事業者が対象（農業法人のみが申請可能）。農家は個人事業者の白色申告も前年の年間事業収入の12分の1を売上げ減少の対象月の前年売上額とする。令和2年のいずれかの月の事業収入が平均月収の50%以下が対象だ。

他県の地方紙が「コロナの影響を受けていない農家の申請は不正受給」と報道後、他県農林水産部は「収入減少の原因は、新型コロナウイルスの影響だと説明できることが必要」と誤解に基づくメッセージを発信した。

制度の内容を知らない方が誤解によって給付申請が遅くならないように、今以上に周知を徹底して農林業者の事業継続を支援するべきではないか。

答弁

吉田町長

コロナ禍で農家経営を圧迫し、生産基盤の弱体化と

食料供給の不安定化を招く恐れがある。制度の周知を、JAや関係機関と共に行い業者の事業継続を下支えする支援をしていく。

質問

政府の見解は「申請すれば、殆どの農家はこの状況下で対象になる」とのこと。「コロナの影響が明らか

かだと証明しなければ対象として受け付けない」という考えは間違っていると思うが。

答弁

吉田町長

申請はJAと指導している。申請者は国の基準に沿って申請する。受理されれば問題はない。

砂埃対策

県に根本的解決策の要請を

町長/対応を見ながら要請する

質問

毎年、乾燥と強風が重なる時期になると県立八頭高等学校のサッカー場で大量の砂埃が舞い上がり、それが周辺集落のサッカー場側の住宅に吹き付けて様々な環境悪化が生じている。

本町の住民が生活上、困惑を極めている問題であり、本町が根本的解決策の実施を県に要請するべきだ

と考えるが。

答弁

吉田町長

砂埃の影響については平成24年に国中区長会から要望があり、長年にわたる懸案事項として承知している。本町も高校へ申し入れた経過もある。

現在、高校はスプリンクラー1台を購入し試運転も終わり当面は様子を見ると



▲ 砂埃が舞う状態（八頭高等学校・平成28年5月3日）～町民より提供～

のことで追加購入も考慮中。本町も住民生活に支障のないよう、対応を見ながら県に要請していく。

質問

集落はグラウンドの全面芝生化を希望しているが。

答弁

吉田町長

根本的対策・対処は防風帯設置や芝生化だと思う。



中村 美鈴 議員

子育て支援

計画はどのように生かされるのか

町長 関係機関と連携し子育て支援に努める

質問

子どもの貧困率は平成30年時点で、13.5%だったが、27年の13.9%からの改善は見られず、子どもの7人に1人が貧困状態にある。

①子育て支援又独り親家庭、母子・父子の現状は。②アンケートを受けて作成された「第2期八頭町子ども・子育て支援事業計画」は、どの様に生かされるか、また前期計画の達成状況の点検及び評価の結果は。③コロナ禍で社会全体の「養育力」低下の指摘があり、子ども達の（学校・家庭での）様子は。

答弁

吉田町長

①児童扶養手当の状況は、11月末の申請で受給している世帯が147世帯。うち所得額で一部支給停止世帯が70世帯。コロナ感染症で家計が急変し、減収世帯は追加給付で32世帯。ひとり親家庭の9割が母子世帯だ。②前期計画状況は毎年度点検、評価を行いニーズに

沿った計画実施に努め、達成率は95%だ。子ども・子育て会議では現状と課題を分析し、子育て世代ニーズを把握して、関係機関と連携し実効性の高い支援実施に努めたい。

答弁

藪田教育長

③コロナ禍で学校が臨時休業の際心配な家庭は、児童生徒を学校に來させたり、家庭訪問をして日々連携を図っている。



▲ 子育て支援センター（大御門地区）

質問

病気や障がい、精神的な問題を抱える家族を介護する18歳未満の子ども「ヤングケアラー」支援のあり方が問われている。年齢や成長に合わない加重負担で、心身が疲弊し学業や進路に影響するケースもある。①ヤングケアラーが問題になっている。コロナ禍で勉強等に支障がないか本町の把握や相談窓口や支援は。②ケアラーの認識と課題は。

答弁

吉田町長

②ヤングケアラー問題は、健全な成長や生活に影響があると認識している。実態把握は容易でなく表面化しにくい家庭の問題だ。連携を密に、早期発見や支援が重要だ。幸いそんな事例はないが、切実な問題であり全国的な新しい課題であるため内部で話をする。

質問

ケアラーアンケート実施は。

答弁

藪田教育長

①義務教育（小中学校）では、介護や世話が理由で学校に通学できない児童生徒はいない。心配な子ども達への状況は校内で共有し、必要な支援ができる様努める。

答弁

藪田教育長

現在のところ実施はないが、埼玉県の調査を参考に考えてみたい。

ケアラー

ヤングケアラー支援のあり方が問われるが

町長 教育と保健、福祉の連携で早期発見や支援が重要だ



森 亜紀子 議員

防災訓練

冬場の備えは

町長/必要なものは対応する

質問

災害の日頃の備えは大切だ。また福祉避難所の開設も求められる。

- ① 訓練の成果と課題は。
- ② 避難場所や備蓄品は。
- ③ 災害時の福祉車両確保は。
- ④ 福祉避難所訓練の計画は。

答弁

吉田町長

①今年度は3密を避けての訓練。コロナ禍で防災意識の高揚が図れたことは成果。課題は体調不良者の選別訓練や専用スペースの確保など各集落での訓練も必要。②体調不良者の方には専用の部屋など確保し、一般の避難者と分ける計画。

各集落に非接触型体温計と手指の消毒を配布した。指定避難所には間仕切りや簡易ベッド、簡易トイレを今年度購入している。③社会福祉協議会などの町が連携している町内の福祉施設の協力で移送の計画。④今後開設時の運営訓練を計画し実施したい。

質問

冬場カイロ等の備蓄品は。体育館へ避難した際ストーブから遠いと寒いので。

答弁

吉田町長

ストーブなどの準備はあるがカイロなどの準備はない。必要なものは対応する。

人権政策

オンライン研修の環境整備は

町長/試験的に実施する予定だ

質問

人権集会の他オンラインやリモートなどの研修や会議が増えた。パソコンやスマートフォンがなくても学べる環境整備は必要。①今後町内でオンライン研修ができる場所の検討は。②モニタリングの計画は。③人権教育全体計画の改訂のポイントは。

答弁

吉田町長

①12月三重県津市で開催の人権啓発研究大会を試験的に中央人権啓発センターでオンライン研修する予定。②県では昨年度からインターネットモニタリングネットワークを立ち上げた。今後はネットワークの名のとおり情報共有を図り、人権侵害の書込みなどの削除



▲ 冬場の備えも大切 (避難所周辺の除雪)

要請重複の回避や監視体制の強化、情報提供のシステムづくりなど県に要望したい。

答弁

藪田教育長

③この計画は現在改訂作業中でポイントは大きく2点。1点目は人権を尊重する子どもの姿。2点目は就学までに育てたい子どもの力だ。

質問

この計画で本町のオリジナルティは。

答弁

藪田教育長

厚生労働省の保育指針は必須としている。

質問

子育ては楽しいと思う環境や仕組み作りは。笑顔の中で笑顔が育つと思うが。

答弁

藪田教育長

全く言われる通りで自己肯定感は大変。学校でも重視して教育を進めている。



栄田 秀之 議員

監査制度

外部監査人の導入は

町長／今の体制で行う

質問

人口減少社会において、最小の経費で最大の効果を上げるように、事務の適正性の確保、また資源が限られる中での事務の共同処理の仕組み、外部資源を活用することも重要とし、地方独立法人の活用を制度上可能とできる改正があった。

答弁

①内部統制体制の、整備が求められているが、市町村は努力義務で、導入については今後検討したい。

質問

監査の独立性、専門性を高めるため公認会計士などの外部監査人の導入方針は。

答弁

吉田町長
今現在、今の体制でよい

のではと思っている。

質問

監査基準の対象リスクの識別、リスク検討とは。

答弁

吉田町長
誤った事務処理に対して適正に処理を行うこと。

森林政策

CO₂削減・低炭素社会の実現は

町長／バイオマス利用を

質問

森林を整備することは、地球温暖化防止、国土の保全や水源の涵養、快適な生活環境の創出につながる。町の森林率は80%で豊富な森林資源がある。

質問

①豊富な資源、森林の活用、整備は
②低炭素社会への取り組みとして間伐材を利用した自家消費型バイオマス発電は
③森林の活用として民間事業体の導入は

答弁

吉田町長
①森林管理システムを活用し計画に基づき木材生産を

実施する。

②本町では、小規模な熱利用のみのバイオマス利用を考えている。

③現在、森林組合が森林整備、木材生産を実施している。資源の有効活用や利益率の向上のため工場の誘致を考えている。

質問

森林の効果的な施行実施のためには、林業専用道が不可欠、幹線林道の作設は。

答弁

吉田町長
ハードルが高い、投資効果がなければ事業採択にな

らない現状だ。

質問

地域経済波及効果として、町内の地域で採れたバイオマスを燃料とした場合は、お金は地域を中心に波及し経済効果を生むが。

答弁

吉田町長
将来的な投資効果も見極めて検討したい。

※その他の質問

観光資源について



▲ CO₂削減・森林バイオマス活用 (西粟倉村)

議会からの報告

議会・議員のあり方 報酬・基本条例について No.3

議会改革推進調査特別委員会

平成31年3月、全国町村議長会からの「議員報酬等のあり方」最終報告を受けて令和元年12月より特別委員会で検討を重ね、17回の委員会を開催しました。

1. 議員報酬

新型コロナの感染拡大の影響を受け日程が遅れ、3月議会の提案は、困難となり、今期の報酬審議は見送りといたしました。

2. 議会基本条例

規定により検討、見直しを行い、一部条例改正等を行いました。

報酬審議、12月22日第17回委員会において

12月に入って新型コロナ第3波感染が拡大しています。コロナの影響を受け報酬審議会の答申、これを受けての町民の方との意見交換会の日程や検討が難しくなり、3月議会の提案は困難となりました。また新型コロナウイルス感染が県東部でも拡大し、いつ八頭町での発症があるかもしれない社会状況となっています。これらの事を勘案し、今期の議会での報酬審議は見送りといたしました。

議会基本条例の一部改正

平成28年1月に制定しました八頭町議会基本条例には、災害時の対応条項が盛り込まれていませんでした。議会が非常時に的確に対応するため、議会が機能不全に陥らないために災害対応条項の追加等条例の一部改正を行いました。

令和2年（1月～12月）

定例会等の出欠日数一覧

【定例会・臨時会】

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名		奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	尾島 勲	高橋信一郎	下田 敏夫	栄田 秀之	谷本 正敏
第1回臨時会（1/30）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第2回定例会（3/9～25） ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														
第3回臨時会（4/21）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第4回臨時会（5/12）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第5回臨時会（5/29）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第6回定例会（6/4～17） ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														
第7回臨時会（8/5）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第8回定例会（9/3～18） ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														
第9回臨時会（11/12）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第10回臨時会（11/30）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠														
第11回定例会（12/10～22） ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠														

【議会運営委員会・常任委員会・特別委員会】

（所属していない委員会は空欄となっています。）

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
委員会名		奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	尾島 勲	高橋信一郎	下田 敏夫	栄田 秀之	谷本 正敏
議会運営委員会（22回）	出	22	22	22			22	22		22					
	欠														
総務教育常任委員会（11回）	出	11		11	11		11		11		11			11	
	欠														
産業福祉常任委員会（11回）	出		11			10		11		11		8	9		11
	欠					1						3	2		
議会広報常任委員会（13回）	出	13			13	13	13					13	13	13	
	欠														
議会改革推進調査特別委員会（15回）	出	15	15	15	14	15	15	15	5	14	15	15	15	15	
	欠				1				10	1					
予算・決算に関する調査特別委員会（11回）	出	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	11	11	11	
	欠										1				

やず・ドリームトーク

八頭が好きで 八頭を盛り上げたい

八頭町商工会青年部 部長

花原 辰徳さん

「八頭には頑張ってる仲間がいる」これは私が八頭町商工会青年部に入部した時に感じた思いです。

私は、3年前から部長をしています。部長になり分かった事は人と人の繋がり
の大切さと同じ目標を持つ仲間の力強さ
です。皆、忙しい家業の合間を縫って青
年部事業に力を貸してくれます。それは
八頭が好きで八頭を盛り上げたいと思
う気持ちだと思います。

例年、きらめき祭りの出店や郡家駅前
のぷらっとフェスタなどで八頭の町を盛
り上げてきました。しかし、昨年から流
行している新型コロナウイルスの影響で
八頭町内のイベントが軒並み中止になり、
その中で僕たちに何かできないかと考え、
町内3か所で花火を打ち上げる「八頭町
サプライズ花火」を企画しました。準備
期間の少ない中でしたが、青年部員たち
の八頭に元気と笑顔を届けたい気持ちと
沢山のお店の方々や団体のお力添えを頂
き無事に開催する事ができました。

花火が打ち上がった瞬間の達成感と花



▲ 青年部集合写真（前列中央 花原さん）

火の後に町民の方々から頂いた「ありが
とう」の言葉は青年部の活力となりまし
た。
町民の皆さまにこれからも笑顔と元氣
が届けられるような青年部事業を實施し
てまいりますので、応援よろしくお願
い致します。

定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

議会の傍聴をしてみませんか

一般質問は再放送しています



TEL.0858-72-3975 FAX.0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索

編集後記

令和3年の新年は新型コロナウイルス対策として緊急事態宣言が再発令し、県内も感染者が増加となりました。また、寒波の大雪と厳しい状況が続きます。

丑年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。やがて結果の芽がでるまで最善を尽くしていくことだと思います。

議会だよりの編集作業も同じようにコツコツと着実に積み上げて完成していきませんが、読んでいただいで初めて結果の芽が出ると思っています。

この委員会メンバーでの発行は今回64号が最後となります。取材、モニター等編集、発行に協力してくだつた方々に感謝いたします。

ありがとうございました。

(記：奥田のぶよ)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 奥田のぶよ |
| 副委員長 | 小林 久幸 |
| 委員 | 森 亜紀子 |
| 委員 | 中村 美鈴 |
| 委員 | 高橋信一郎 |
| 委員 | 下田 敏夫 |
| 委員 | 柴田 秀之 |



再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用し印刷しています

